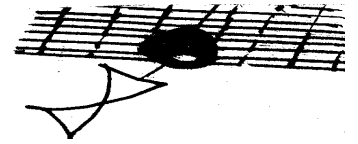




かなざきひさを応援する会・会報18号 発行責任者 伏見 小枝

葉山町議会第2回定例会が開催されました。期日平成14年6月18日～6月28日〇

かなざきひさの一般質問



(1) コミュニティーバスについて

現行の路線バスのみでは町民にとって大変不便であり、コミュニティバスのような小回りの効く交通手段が必要であると、多くの方が望んでいます。行政としては12年度からコミュニティバス調査研究事業を立ち上げ、アンケート調査等の為、10万円前後の予算がついています。今回初めて一般質問に取り上げました。

質問と提案	理事者側の答弁
今年度の予算の使いみちは。	当町に似た、県外自治体への職員の視察を予定。(町長)
町長自身はコミュニティバスの導入を必要と考えているか。	何らかの交通システム(コミュニティバス、福祉バス、タクシーの併用)が必要と考えている。(町長)
かつてのアンケート調査の内容は。	要らないという地域もあるので、どういふ対応が必要か更に検討を加える。(町長)
来年度にむけて、実証実験(試験運行)など、一歩進めるような調査研究をして頂きたい。	当然そのような対応も組み入れるべきと思う。(町長)
<p>かなざきひさの考え 『交通形態が今のままでは良くない』『何か手をほどこさなくてはいけない』『一歩前進の調査として実証実験も組み入れる』ということの確認をいたしました。昨年の「ふるさと広場」の時に、町民パワーで試験運行をし、無料ということもあってか大成功を納めました。法律上、行政がかかわらないと乗車料金を取ることはできません。平時に料金を払って、どれだけの人が利用するかを知る為にも、実証実験の為の予算化が必要であると思います。『町民だけではできないところを行政が手助けをする』これこそ町長の言う、町民との協働ということではないでしょうか。来年度の予算化に向けて、提案を続けます。</p>	

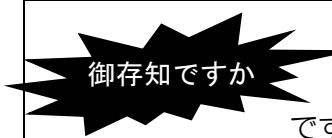
(2) 海と川をきれいにする施策について

今回は、水質浄化と海岸の放置ボート対策について質問しました。



① 水質浄化について

質問と提案	理事者側の答弁
全町にわたる污水対策の長期的ビジョンは。	葉山町総合計画と下水道審議会の答申を尊重し、全町を公共下水道の整備で進める。(町長)
工事完了目標は。	平成32年。(都市経済部長)
下水道事業に今年度9億7900万円の町税を費やしている。今後の見通しについて。	他の施策に影響を及ぼさない範囲で、最大限の対応を考える。(町長)
18年度までに300ヘクタールを完了するという計画であるが、経済状況により遅れる可能性も有るのでは。	目標はそうであっても、無い袖は振れないので遅れる可能性も有りうる。(町長)
水質浄化を公共下水道のみに頼っていると、時間とお金が掛かり過ぎる。合併浄化槽の推進については。	現在の合併浄化槽の基数は410基。清掃、保守点検、法定検査を個人が主体的に行う義務がある。(町長)
全国的に管理状況が14.4%と悪い。管理しなければ水質浄化につながらない。町として維持管理に、管理条例制定など、何か手立ては。	条例を制定しても、そのとおり実施してもらえないという期待は持てない。水を浄化するという目的の為に、公共下水道で一括処理する方が良いというのが持論である。(町長)
一刻も早く水の浄化を達成する為に、町民が一丸となって、自分達で出来ることをしていくように、方向性を持たせる必要があるのでは。	正しい維持管理をしてもらえるよう、啓発活動に努める。(町長)



2001年1月の町長の後援会会報誌で『下水道計画は合理的な併用方式で行う』とあります。つまり「人口密集地は公共下水道で、木古庭・上山口など住居の密集していない地域は合併浄化槽で、東伏見・パークド四季・葉山シーライフなどコミュニティプラントのある地域は既存施設活用で行う」ということです。適切な維持管理をすることにより、併用方法が一番経済的で一番早く水の浄化につながると思います。

② 放置ボート対策について

質問と提案	理事者側の答弁
「放置禁止」と書かれた看板のそばに、多くのボートが放置されているが、その対策は。	具体的な対応策がないのが現状である。海岸管理者である神奈川県に対応に期待したい。(町長)
町としての打つ手はないのか。	強い関心を抱きながら、県にも働きかけ、何とか対応したい。(町長)
大きなボートは県条例で登録制になったが、対象外の小さなボートが山積みになっている。町としては気にならないのか。	歯がゆい思いだ。なるべく早くすっきりとした砂浜を取り戻したいので努力する。(町長)
ボート置き場の増設について。	今後も極力、地権者と相談を続ける。(町長)
かなざきひさの考え 放置ボートに関しては、張り紙で期限を告知し、それまでに引き取り手のないものは、町が回収する処置をとらなければ、いつまでたっても、すっきりとした砂浜を取り戻すことは出来ないと思います。	

『 かざらず、かくさず、ごまかさず 』

「葉山町廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例」に賛成しました。

この条例は、粗大ごみの有料化と事業系のごみを有料化するものです。事業系ごみは、昭和49年から今日まで、登録した事業者のみ戸別収集し、有料となっていました。今回初めて、事業者がクリーンセンターに持ち込んだ場合にも、10kg100円の料金がかかることになりました。しかし、持ち込みと戸別収集との手数料の格差が問題視されました。



持ち込みごみの有料化に関しては、ごみの流入の防止策の一環であり、将来的には、事業系ごみは自社処理されるべきものと思います。今回全ての事業系ごみを有料にしたということは、ごみの減量化を真剣に、自分のこととして考える良いきっかけになるはずです。持ち込みと戸別収集の料金の不公平に問題はありますが、平成16年4月までに是正するという行政側の言葉を信じ、ごみ問題解決へのステップとして、ごみの有料化は是非とも必要なこととして、賛成いたしました。

お知らせ

10月から家庭の大型ごみは、クリーンセンターへ電話をすれば、有料で取りに来てくれます。

暑中、お見舞い申し上げます。

去年と違い、今年は、まさに梅雨らしい梅雨に恵まれ、草木はきっとホッとして喜んだことでしょう。植物にも潤いが必要なように、人間にも潤いが必要です。サッカーワールドカップも人々を興奮させ、楽しませ、私達に一種の潤いを与えてくれました。隣国との関係にも、心温かくなるつながりが出来、とても素晴らしいことだと思います。自身が脳性マヒで、結婚し2人の子供を出産した女性が「私は人の手を借りなければ出来ないことが沢山あります。私は、自分でトイレも出来ないから、最初から自分を全部見せなければ生きていけません。隠さないでさらけ出すから、みんな助けてくれるのだと思います。さらけ出すってすごく大変なことですけどね……。普通みんな隠すでしょう？私は隠したら生きていけないのです」と言っていました。「分からないことは分からない」「出来ないことは出来ない」「知らないことは知らない」と正直に言う。「ミス」や「過ち」を素直に認める。そういったことが人と人をつなぐ何よりの潤滑剤になるのではないのでしょうか。かなざきひさも葉山町の皆さんの潤滑剤となるよう努力し続けます。どうぞ暑さに負けずお元気でお過ごし下さい。

かなざきひさを応援する会会長 伏見小枝

ご意見、ご要望などお聞かせ下さい。